2019年後期　教育課程論　第2回　(9月27日)リアクション

番号 1960　氏名

1　前回のリアクションを読んでの感想

人間性・人間形成について、自分は読書とか勉強とかで形成されてきたと思う。
だから、スポーツをもっとやっていたら、今の自分はどんな感じなんだろうと思った。
潜在的なカリキュラムは人によっては男女差別だと感じる人がいるのかなと思った。

2　各時代の学習指導要領の特質（プリント参照、キーワードで）

① 1947,51

戦前日本の中央集権的で画一的なカリキュラム編成を厳しく批判し、戦前の上意下達的で、結め込み主義などを見直して、アメリカの「コース・オブ・スタディー」がモデルとされた。それは、児童中心主義・経験主義導入で、子どもの興味や自発性がきわめて重要であるとした。

② 1958,60

高度経済成長の進展にあわせ、科学技術の向上に向けた人材育成への対応を求められる一方、児童中心主義・経験主義の教育が基礎学力の低下を引き起こしているとして、系統学習の必要性が求められた。第1に基礎学力の向上・充実、第2に科学技術教育の向上、第3に道徳教育の徹底が求められた。

③ 1968〜1970

教育課程審議会は、高度経済成長のもと、学習、身体、生活の基礎基本を重視し、「調和と統一」のある人間を求める教育課程改善を答申した。「学問中心カリキュラム」による「教育の現代化運動」が世界規模で展開されるなか、高度で科学的な教育をする「教育内容の現代化」を中心に改訂が進められた。その中で算数と理科が重視された。

④ 1977,78

単なる結め込み教育で、「落ちこぼれ」が量産され、能力主義的な教育は、「偏差値」教育に象徴される激しい受験競争を生んだ。そこで、1960年代アメリカで提唱された人間性重視の「人間中心カリキュラム」を導入した改訂が行われた。そして「豊かな人間性の育成」をめざし、「ゆとりある充実した」学校生活が目標となった。

⑤ 1989

臨時教育審議会の最終答申では、これまでの日本の教育の問題点を指摘したうえで、今後の教育において「個性重視」「生涯学習体系への移行」「国際社会への貢献と情報化への対応」が必要であると提言した。改訂では、「社会の変化に自ら対応できる自己教育力のある、心豊かな人間の育成」が掲げられ、小学校低学年に「生活科」が新設された。

⑥1998

「いかに社会が変化しようと、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力」「自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性」などである「生きる力」がこれからの子どもたちにとって必要であるとし、この育成が重要であるとされた。

⑦ 2008,09

「知識基盤社会」への対応する能力として〈課題を見いだし解決する能力〉〈知識・技能の更新のための生涯にわたる学習〉などが子どもたちに求められるとされた。そして子どもたちにとって必要な力となるのが「生きる力」であるとされ、OECDが定義したキー・コンピテンシーの概念である。また、「知識活用力」などが課題であるとされていた。

3　他の人のコメントをもらう

（　　）→ 沢山書いていて偉いです。

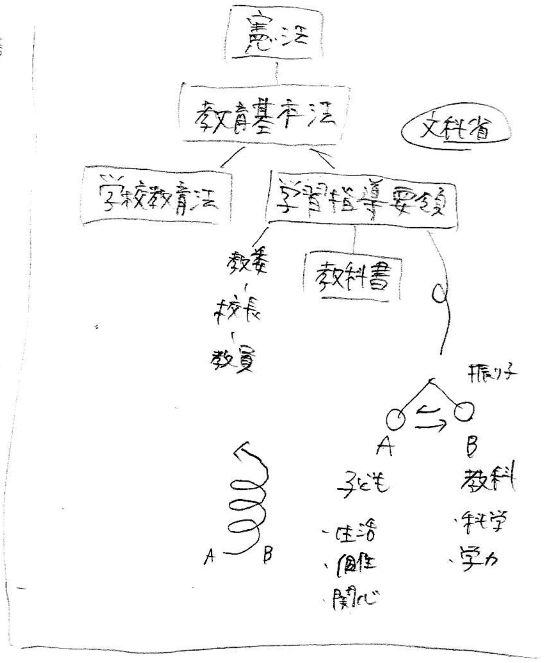
2019年後期　教育課程論　第2回　(9月27日)リアクション

番号　　　　　　　氏名

1　前回のリアクションを読んでの感想

先生のコメントで夏休みの半分はアルバイトをしていて長いとは言えない。と聞いて自分はそんなこと考えたこともなかったので興味深いと思いました。また、スポーツと人間性、成功を求めるかなど色々な意見を知れて、やっぱりたくさんの人の意見を知れるのはとてもおもしろいし、参考になると思いました。

2　各時代の学習指導要領の特質（プリント参照、キーワードで）



A ①　1947,51　児童中心主義
敗戦，GHQ，教育改革，教育の民主化，アメリカ教育使節団報告書
コース・オブ・スタディー，児童中心主義・経験主義，自発性
社会・家庭・自由研究，教科以外の活動

B ②　1958,60　系統学習
冷戦・逆コース，高度経済成長，系統学習の必要性
法的拘束力，基礎学力の充実，科学技術教育の向上
国語・算数，道徳教育の徹底

B ③　1968～1970　教科の現代化
調和と統一，学問中心，教育の現代化運動，教育内容の現代化
算数・理科，特別活動

A ④　1977,78　ゆとり
詰め込み教育，落ちこぼれ，問題行動，偏差値，受験競争
人間中心カリキュラム，豊かな人間性の育成，ゆとりある充実した学校生活
弾力化，ゆとりの時間

A ⑤　1989　個性重視
臨時教育審議会，個性重視，生涯学習体系への移行，国際社会への貢献と情報化への対応，自己教育力の育成
文化と伝統の尊重と国際理解の推進，変化する社会に対応した教育の必要性，幼稚園から高校までを一貫，生活科
教科選択，地歴科と公民科，家庭科が男女必修，知識・理解，技能・表現，関心・意欲・態度，思考・判断
新しい学力観

A ⑥1998　総合学，週5日制
自ら学び自ら考え主体的に判断し行動しよりよく問題を解決する資質や能力，生きる力，国際社会に生きる日本人としての自覚の育成
特色ある学校づくり，週5日制の導入，教育内容の厳選，3割削減，総合的な学習の時間，学力低下問題，学びのすすめ
習熟度別授業，個に応じた指導，確かな学力

B ⑦　2008,09　基礎的学力
知識基盤社会，グローバル化，幅広い知識と柔軟な思考力，課題を見いだし解決する力，生きる力，キー・コンピテンシー，PISA
読解力，知識活用力，充実した人生，外国語活動

3　他の人のコメントをもらう

（タカノサキ）→　キーワードがしっかりとまとめられていて年ごとに分かりやすい

2019年後期　教育課程論　第3回　（10月4日）リアクション

番号　1960　　　氏名

1　前回のリアクションを読んでの感想

文字の書き出しがそろっているときれいに見えると感じた。
自分も他人から見て読みやすい字を目指したい。

2　新しい（2017年）の学習指導要領の特質（新田参照、キーワードで）A

文部科学省の誰かが書いたもの。文句を言われないように様々なことを
つめ込んで書かれていて分かりずらい。→（等とあいまいにまとめられている）
主体的社会に開かれた、資質、能力の3つの柱 ↘
① 知識及び技能　② 思考力・判断力・表現力等　③ 学びに向かう力・人間性等
計画的に各学校の教育活動の質向上を図る「カリキュラム・マネジメント」の確立を求めた。
教科に関しては新たに小学5・6年生に「外国語科」、3・4年生に「外国語活動」が導入された。

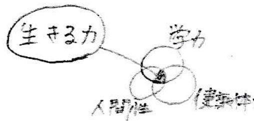
3　小学校教育の基本　（小学校学習指導要領　総則　第1章　参照）B

① 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる
② 道徳教育や体験活動、多様な表現や鑑賞の活動等を通して豊かな心や創造性を育てる。
③ 学校における体育・健康に関する指導を児童の発達の段階を考慮し、健康で安全な
生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育をすること。
学校教育全体・各教科・道徳化・外国語活動・総合的学習・特別活動
⟶ 生きる力を育むことを目指している！　↪ 資質・能力の育成

4　「生きる力」「確かな学力」とは何か　　（文部科学省参照）C

基礎的・基本的な知識や技能に加えて「学ぶ意欲」や「思考力・判断力・表現力」など
を含めた幅広い学力を育てること。［確かな学力］

変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたちに身につけさせたい
「確かな学力」「豊かな人間性」「健康と体力」の3つの要素からなる力。



5　学習指導要領改訂のキーワードをあげなさい（無藤隆参照）D

① 社会に開かれた教育課程
② カリキュラム・マネジメント
③ どういう子どもを育てるか
④ アクティブラーニング
主体的で対話的で深い学び

・教育心理学やカリキュラム研究やさらに
現場実践の成果を念頭に置くこと。

表現　能度　行動
表現力　思考力　基礎力

6　21世紀型能力（コンピテンシー）とは何か（　松尾「教育課程・方法論」参照）E

コンピテンシー（社会を生き抜く力）とは知識だけではなく、スキルさらに
態度を含んだ人間の全体能力をいう。

21世紀型能力は生きる力（知・徳・体）を実効的に獲得することを目指す。

7　結局、どのような学びが求められ、学校はどのような教育をすればいいのか？

アクティブ・ラーニング ⟶ 主体的・対話的でより深い学びの実現を目指すと共に、家庭と連携をとって
児童の発達の段階に応じた生きる力を身につけさせる教育が求められる。（地域）
学力だけではなく自分の考えや指針を発見できるような学び。
自分の中だけで考えるのではなく、広い視野で物事を見させる。

8他の人のコメントをもらう

（すおは　　）→ 重要な図を抜き出して書いていて、学んだことがわかりやすい！

2019年後期　教育課程論　第3回　（１０月４日）リアクション

番号　1960.[redacted]　　氏名

1　前回のリアクションを読んでの感想

年によって大きく指導が変わっているなと思った。でもどの年代も共通して、改定前のマイナス面をもとにおぎなうように作られているなと思った。私は、「子ども中心」の教育がいいなと思う。

2　新しい（2017年）の学習指導要領の特質（新田参照、キーワードで）A

新しい学習指導要領では、自らの考えを述べることや、学習したことを生活や社会での課題解決に生かすことに課題があり、複雑で予測困難なこれからの社会のなかで、主体的に関わり、よりよい社会の担い手となる力が重要であると指摘している。そして〈知識及び技能〉〈思考力、判断力、表現力〉〈学びに向かう力、人間性等〉の3つの柱で整理されている。

3　小学校教育の基本　（小学校学習指導要領　総則　第１章　参照）B

大きくわけると3つある。(1)知識及び技能が習得されるようにすること(2)思考力、判断力、表現力等を育成すること(3)学びに向かう力、人間性等をかん養することである。これは主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を目指して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する、児童に生きる力を育むことを目指すものとしている。

4　「生きる力」「確かな学力」とは何か　（文部科学省参照）C

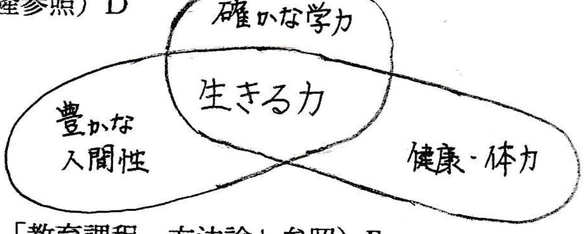
「生きる力」……変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたちに身に付けさせたい「確かな学力」「豊かな人間性」「健康と体力」の3つの要素からなる力。

「確かな学力」……知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等まで含めたもの

5　学習指導要領改訂のキーワードをあげなさい（無藤隆参照）D

キーワードは4つ。

1 社会に開かれた教育課程
2 カリキュラム・マネジメント
3 〈知識・技能〉〈思考力〉〈学びに向かう力〉
4 アクティブ・ラーニング



6　21世紀型能力（コンピテンシー）とは何か（　松尾「教育課程・方法論」参照）E

コンピテンシーとは「社会を生き抜く力」で、自立した個人が自ら問いを立て、限られた情報をもとに、他者と協力し合いながら直面する諸課題を解決していくことが求められる。また、知識だけでなく、スキル、さらに態度を含んだ人間の全体能力としても考えられる。人間関係の希薄化が進み、生活の基盤である地域が脆弱化している状況で、新たなコミュニティの共同構造を担っていく責任ある市民としてのローカル人材の育成が課題である。

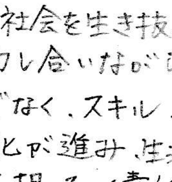
7　結局、どのような学びが求められ、学校はどのような教育をすればいいのか？

知識だけ、試験だけに役立つようなものではなくて、社会に出て、課題を見つけ、その課題を解決できるような能力を身に付けられる学びが求められていると思う。だからそのために、学校は、「実践」を意識して授業に取り入れていけばいいと思う。

人と関わり、実践力を向上

8 他の人のコメントをもらう

（　　　）→



キーワードを取ってまとめられていると思う